

令和 9 年度再編・統合対象校の設置計画について

別紙（案）のとおり

令和 8 年 3 月 19 日提出

神奈川県教育委員会

教育長 花 田 忠 雄

（提案理由）

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）に基づき、令和 9 年度に再編・統合により設置する新校の設置計画を決定いたしたく提案するものです。

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

横浜南西地域
普通科
（旭高校・横浜旭陵高校）
設置計画（案）

令和8年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 旭高等学校 横浜旭陵高等学校
- (2) 位置 旭高等学校敷地（横浜市旭区下川井町2247）
- (3) 実施年度 令和9年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、幅広い地域資源を活用した様々な連携事業を実施し、より密接な地域連携活動を展開する。
- 横浜旭陵高校におけるICT利活用授業研究推進校としての取組みを新校の学びへ発展・継承させるとともに、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図り、学校全体の教育力の向上に取り組む。
- 両校のきめ細かな生徒支援を基盤とした自己管理能力や規範意識の育成に係る取組みを共有し、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成する。

3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開
共通教科・科目を中心とした教育課程を編成し、基本的な知識・技能の習得と、主体的に学び、自ら課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、自ら設定した高い目標の実現に向かって積極的に行動する自立した人材の育成を図る。
- 「探究する力」の育成を通じたキャリア教育の推進
ICTを積極的に活用し、自ら課題を見出し他者と協働して解決する力「探究する力」を育成する。

○ 地域と連携・協働した教育活動の推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する意欲を高めるとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会とのつながりを実感できる、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

○ 相互に人格を尊重し高め合う豊かな人間性の育成

共生社会の形成に向けて、障がい、性別、国籍、言語等あらゆる他者との違いを個性として尊重し、その多様性を認めるとともに、個性を互いにいかし、ともに学ぶことができる、思いやりある豊かな人間性を育成する。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 960名程度（各学年320名程度 8学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学期 3学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
ショートホームルーム	8：45～8：50
1校時	9：00～9：50
2校時	10：00～10：50
3校時	11：00～11：50
4校時	12：00～12：50
昼休み	12：50～13：35
5校時	13：35～14：25
6校時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：30
清掃	15：30～15：40

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本の方針
 - 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
 - 共通教科・科目を中心とした系統的な科目構成とし、生徒の多様な進路希望の実現に向け、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図る。
- (2) 教育展開の方針
 - 基礎的な科目や発展的な科目を設置し、学びの充実を図るとともに、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開し、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成する。
 - 自己肯定感にあふれ、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様性を理解し、共生社会を推進できる持続可能な社会の創り手を育む。
 - 地域の教育力を活用した体験活動や異世代交流を推進するとともに、課題解決能力を育む。
- (3) 編成の方針
 - 生徒一人ひとりの興味・関心や進路実現に向けて、基礎的な科目から発展的な科目まで、幅広く設置する。
 - 基本的な知識・技能の習得と、主体的に学び、自ら課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図るための教育課程を編成する。
 - 総合的な探究の時間において、地域資源を活用した探究活動を取り入れ、生徒一人ひとりの進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る教育課程を編成する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 学年	現代の国語②	言語文化②	歴史総合②	数学Ⅰ③	数学A②	化学基礎②	体育③	保健①	美術Ⅰ② / 音楽Ⅰ / 書道Ⅰ②	英語コミュニケーションⅠ③	論理・表現Ⅰ②	家庭基礎②	情報Ⅰ②	総合的な探究の時間①	LHR①															
2 学年	文学国語②	地理総合②	公共②	数学Ⅱ④	物理基礎②	生物基礎②	体育③	保健①	英語コミュニケーションⅡ③	論理・表現Ⅰ②	必修選択A③	必修選択B②	総合的な探究の時間①	LHR①																
3 学年	論理国語②	体育③	英語コミュニケーションⅢ③	論理・表現Ⅱ②	必修選択A③	必修選択B④	必修選択B【A帯】②	必修選択B【B帯】②	選択科目C④⑩	総合的な探究の時間①	LHR①																			

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2 学年必修選択A (3 単位)

日本史探究③、世界史探究③、化学③

◇ 2 学年必修選択B (2 単位)

古典探究②、数学B②、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、[家] 服飾手芸②

◇ 3 学年必修選択A (3 単位)

地理探究③、日本史探究③、世界史探究③、数学Ⅰ③、数学Ⅲ③

◇ 3 学年必修選択B (4 単位)

物理④、化学④、生物④

◇ 3 学年必修選択B【A帯】(2 単位)

古典探究②、歴史総合②、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、書道Ⅲ②、
[家] フードデザイン②

◇ 3 学年必修選択B【B帯】(2 単位)

論理国語②、政治・経済②、[体] スポーツⅡ②

◇ 3 学年選択科目C (4～11 単位)

文学国語②、国語表現②、歴史総合②、倫理②、政治・経済②、数学Ⅲ②、
数学B②、数学C②、物理③、化学③・④、生物③、Zoology (理) ②、
創造表現 (芸) ②、論理・表現Ⅱ②、情報Ⅱ②、[家] フードデザイン②、
[家] 保育基礎②、[音] 器楽②

3 学年選択科目について

- ・必修選択Aにおいて、数学Ⅲを履修する場合は、選択科目Cの数学Ⅲとあわせて履修する。
- ・必修選択Bにおいて、物理または生物を履修する場合は、選択科目Cの同一科目とあわせて履修する。
- ・化学の履修については、2学年必修選択Aで化学③を履修した場合は、必修選択Bまたは選択科目Cの化学④を選択する。また、2学年必修選択Aで化学③を履修していない場合は、選択科目Cの化学③を必ず選択する。
- ・選択科目Cの下線の科目について、すでに必修選択で履修している場合は、選択できない。

(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

<主な科目>

Zoology (2単位)

よこはま動物園ズーラシアと連携した学習を通して、動物園の歴史や構造、役割等について学ぶとともに、我々と関わりの深い動物についても取り扱いながら動物と人間について考え、研究発表等を通して社会に参画するための資質・能力を育成する。

創造表現 (2単位)

美術・工芸分野の幅広い創造的な学習活動を通して、個性を互いにかし、思いやりのある豊かな人間性を育むとともに、体験的な学習を通して醸成される豊かな感性や、新しい意味や価値を作り出す創造性を育成する。

スポーツⅡ (2単位)

球技への多様な関わり方の習得をめざした主体的、合理的、計画的な実践を通して自ら課題を発見し解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与することができる資質・能力を育成する。

(5) 学習指導の工夫

- 知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、基本的な内容から発展的な内容まで、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図る。
- 自らの進路実現や学習の目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、生徒一人ひとりの自己肯定感を高め、個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- ICT機器を活用し、「わかりやすい学び」から「深い学び」へと深化させるとともに、探究的な学びを通して自分の考えを的確に表現する力や他者と協働して課題を発見・解決する力を養う。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動による様々な体験を通して、互いの個性を理解し尊重する、より良い人間関係の構築と自立をめざすための指導及び支援を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、多様な教育的ニーズに対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 生徒と教職員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を構築するとともに、教職員による生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、探究活動をはじめとする教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かな指導や、1学年より進路希望に対応した体験活動及びガイダンス機能の充実を図る等、支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで両校が取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における学年制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における学年制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

横浜南西地域
単位制普通科
（横浜桜陽高校・永谷高校）
設置計画（案）

令和8年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 横浜桜陽高等学校 永谷高等学校
- (2) 位置 横浜桜陽高等学校敷地（横浜市戸塚区汲沢町973）
- (3) 実施年度 令和9年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、基礎からしっかり学ぶことで進学や就職に向けた確かな学力を育成し、一人ひとりの将来について自覚を深める。
- 横浜桜陽高校の充実したキャリア教育の取組みや永谷高校の「進路実現プロジェクト」等、これまで両校が進めてきた進路実現に向けた取組みを融合させ、生徒一人ひとりの夢をかなえるための進路指導を展開する。
- 両校が実践してきた学習支援の取組みを充実させ、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図り、学校全体の教育力の向上をめざす。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- 生徒の自己有用感の伸長に向けた取組みの推進
多様な社会変化に対応し、これからの社会を自分らしく生き抜くことができるように、生徒一人ひとりのニーズに応じた学習及び進路支援体制を整え、学校行事や部活動等の多様な教育活動を通して、自ら学び、考え、判断して行動する力、他者を尊重する態度や協働する姿勢を育成する。
- 生徒の自己実現に向けた学習を支援する取組みの推進
これまで両校が取り組んできた教育内容を充実・発展させ、主体的に学び続ける意欲を引き出し、その学習内容の確実な定着や学びの深化を図るとともに、より高みをめざして、自己実現を目的とした学力向上の取組みを図る。

○ 地域と連携・協働した教育活動の推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する意欲を高めるとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会とのつながりを実感できる、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

4 設置形態

- (1) 課 程 単位制による全日制の課程
- (2) 学 科 普通科
- (3) 学校規模 960名程度（各学年320名程度 8学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学 期 2学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
ショートホームルーム	8：45～8：55
1 校 時	9：00～9：50
2 校 時	10：00～10：50
3 校 時	11：00～11：50
4 校 時	12：00～12：50
昼 休 み	12：50～13：35
5 校 時	13：35～14：25
6 校 時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：35
清 掃	15：35～15：45

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路目標を設定し、より高みをめざして、自己実現に向けた行動がとれるよう、上級学校進学をはじめとした多様な進路に対応するために、単位制普通科として、適切な科目配置を行う。

(2) 教育展開の方針

- 生徒一人ひとりの学習に対する興味・関心を高め、自らの強みに気づき、自己実現ができるよう、学習活動を展開する。
- 生徒が将来の進路について自己理解を深め、自らのキャリアプランを明確にするための支援を行うとともに、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力の育成をめざす。
- 生徒が地域社会に貢献する機会を提供し、他者と協働しながら社会的責任を果たす態度を養う。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ必履修科目を定めることを基本とした教育課程による運用に取り組む。
- 生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図り、自己有用感の向上に資する学びを促進するために、生徒の学習ニーズに応じた多様な科目を設置し、単位制の利点をいかした科目選択を可能とする教育課程を編成する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	現代の国語③		言語文化②		歴史総合②		数学Ⅰ③		数学A②		化学基礎②		生物基礎②		体育③		保健①		書道Ⅰ② / 音楽Ⅰ / 美術Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ④		情報Ⅰ②		総合的な探究の時間①		LHR①			
2年次	地理総合②		公共②		体育③		保健①		英語コミュニケーションⅡ④		家庭総合②		論理国語④		地学基礎②		論理・表現Ⅰ②		必修選択④		2年次自由選択①②		総合的な探究の時間①		LHR①					
													論理国語②		物理基礎②		数学Ⅱ④		数学C②		化学 / 生物④									
3年次	体育②		家庭総合②		文学国語④		政治・経済②		3年次必修選択④		英語コミュニケーションⅢ④		論理・表現Ⅱ②		英語コミュニケーションⅡ②		3年次自由選択⑦⑧						総合的な探究の時間①		LHR①					
					論理国語②		数学Ⅲ④		生化学理④		英語コミュニケーションⅣ④		論理・表現Ⅰ②																	

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2年次必修選択 (4単位)

日本史探究④、世界史探究④、数学Ⅰ②、数学Ⅱ④、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、英語コミュニケーションⅠ②、情報Ⅰ②

◇ 2年次自由選択 (0～2単位)

数学Ⅰ②、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、英語コミュニケーションⅠ②、**Advanced English I (外) ②**

◇ 3年次必修選択 (4単位)

選択群α：国語表現④、古典探究④、日本史探究④、世界史探究④、化学④、生物④

選択群β：地理探究②、日本史探究②、世界史探究②、倫理②、数学A②、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、書道Ⅲ②、**実用の書(芸)②**、英語コミュニケーションⅡ②、情報Ⅰ②、[情] 情報デザイン②、[体] スポーツⅡ②、[体] スポーツⅢ②、[音] 器楽②、[美] 素描②

◇ 3年次自由選択 (0～8単位)

論理国語②、国語表現④、歴史総合②、**近現代と神奈川(地歴)②**、倫理②、数学Ⅰ②、数学B②、科学と人間生活②、物理基礎②、化学基礎②、生物基礎②、**幼児教育音楽(芸)②**、英語コミュニケーションⅡ②、**Advanced English II (外) ②**、**比較文化探究(外)②**、情報Ⅱ②、[家] 保育基礎②、[家] 服飾手芸②、[家] フードデザイン②、[美] ビジュアルデザイン②

選択科目について

- ・ 2年次自由選択の下線の科目について、2年次必修選択で履修する場合は、選択できない。
- ・ 3年次必修選択の選択群αの日本史探究④及び世界史探究④について、2年次必修選択で履修した場合は、選択できない。
(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

<主な科目>

幼児教育音楽 (2単位)

実践的・体験的な学習活動を通して、幼児の発達段階に応じた楽曲の演奏技術(伴奏・歌唱)を身に付ける。幼児の豊かな表現力や感受性を高めることの重要性を理解させ、他者を尊重し、社会を創造する態度を育成する。

Advanced English I・Advanced English II (各2単位)

日常的な会話から社会的な話題等、具体的な言語の使用場面を設定し、英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、実践的なスピーキング力やリスニング力の定着を図る。また、社会生活に必要な他者理解の意識を醸成するとともに円滑なコミュニケーション能力を育成する。

総合的な探究の時間 (3単位)

I C T等を活用した主体的・協働的な学習活動を通して、広い視野で社会を捉え、多様な課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、地域の教育力を活用し、生徒一人ひとりが社会の一員としての自覚を持ち、地域社会へ参画する態度を育成する。

(5) 学習指導の工夫

- I C Tを活用した主体的・協働的な学習活動により、主体的に学び続ける意欲を引き出すとともに、確かな学力の向上につながるよう工夫する。
- 教科等横断的な学習やそのための指導の方法等を充実させる取組みを工夫することで、学習内容の確実な定着や学びの深化を図る。
- 自らの進路希望や学習の目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容まで、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動による様々な体験を通して、互いの個性を理解し尊重する、より良い人間関係の構築と自立をめざすための指導及び支援を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、多様な教育的ニーズに対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 生徒と教職員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を構築するとともに、教職員による生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 多様な進路希望に対応するため、生徒自身が自己の個性を理解し、主体的に選択する能力・態度を育成することができるよう、計画的、組織的、かつ継続的な指導・支援を実践できるキャリア教育実践プログラムを構築し、推進する。
- 体系的なキャリア教育を行い、生徒の進路実現を支援する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで両校が取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

横須賀三浦・湘南地域
単位制普通科
（藤沢清流高校・深沢高校）
設置計画（案）

令和8年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 藤沢清流高等学校 深沢高等学校
- (2) 位置 藤沢清流高等学校敷地（藤沢市大鋸1450）
- (3) 実施年度 令和9年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、単位制普通科高校の柔軟な教育システムによる多彩な学びを実践し、確かな学力の育成を図り、生徒一人ひとりの希望に応じた進路実現をめざす。
- シチズンシップ教育やボランティア活動への取組みをさらに発展させ、積極的に社会参画するための能力と態度を身に付けた人材を育成する。
- 両校が実践してきたリーダーシップ教育の取組みを継続することで、社会で活躍できる人材を育成する。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- 生徒の自己有用感の伸長に向けた取組みの推進
多様な社会変化に対応し、これからの社会を自分らしく生き抜くことができるように、生徒一人ひとりのニーズに応じた学習及び進路支援体制を整え、学校行事や部活動等の多様な教育活動を通して、自ら学び、考え、判断して行動する力、他者を尊重する態度や協働する姿勢を育成する。
- 生徒の学習意欲の醸成に向けた取組みの推進
これまで両校が取り組んできた教育内容を充実・発展させ、主体的に学び続ける意欲を引き出すための学習支援の方法を構築し、これからの時代に求められる資質・能力の育成及び学力向上の取組みを図る。

○ 地域と連携・協働した教育活動の推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する意欲を高めるとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会とのつながりを実感できる、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

4 設置形態

- (1) 課 程 単位制による全日制の課程
- (2) 学 科 普通科
- (3) 学校規模 960名程度（各学年320名程度 8学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学 期 2学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
朝 読 書	8：40～8：50
ショートホームルーム	8：50～9：00
1 校 時	9：00～9：50
2 校 時	10：00～10：50
3 校 時	11：00～11：50
4 校 時	12：00～12：50
昼 休 み	12：50～13：35
5 校 時	13：35～14：25
6 校 時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：35
清 掃	15：35～15：45

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本の方針

- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 単位制による柔軟な学びを提供し、確かな学力を育成するとともに、生徒一人ひとりの進路希望や学習ニーズに応じた科目が選択できるよう、多様な選択科目を設置する。

(2) 教育展開の方針

- 単位制普通科の特色をいかしつつ、基礎的な科目から発展的な科目までを設置し、学習意欲の向上を図る。
- 地域や専門機関と連携し、シチズンシップ教育やボランティア活動を実施することで、積極的に社会と関わる意欲を醸成する。
- 教育活動全体を通してリーダーシップ教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する。
- 各教科・科目の学習活動や特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）、部活動等の集団活動を通して、生徒の充実感や成就感を体得させるとともに、自己有用感を高め、他者を尊重する態度や協働する姿勢を育成する。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ必履修科目を定めることを基本とした教育課程による運用に取り組む。
- 社会の変化を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力を育成するため、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた多様な科目を適切に設置する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30														
1年次	現代の国語②	言語文化②	歴史総合②	公共②	数学Ⅰ③	数学A②	化学基礎②	生物基礎②	体育③	保健①	書道Ⅰ②	美術Ⅰ// 音楽Ⅰ// 工芸Ⅰ//	英語コミュニケーションⅠ③	論理・表現Ⅰ②	総合的な探究の時間①	LHR①	2年次	論理国語②	地理総合②	体育③	保健①	英語コミュニケーションⅡ④	家庭基礎②	情報Ⅰ②	文学国語②	古典探究②	生物基礎② 化学基礎② 歴史総合/ 公共//	物理基礎② 地理基礎②	論理・表現Ⅱ②	数学B/ 数学Ⅱ④	必修選択A②	総合的な探究の時間①	LHR①	3年次	論理国語②	体育②	英語コミュニケーションⅢ④	文学国語②	古典探究②	政治・経済④ 世界史探究// 日本史探究// 生物// 化学// 物理//	自由選択A ⑥)⑫	総合的な探究の時間①	LHR①

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2年次必修選択A (2単位)

倫理②、数学B②※₁、**湘南の自然(理)②**、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、工芸Ⅱ②、書道Ⅱ②、英語コミュニケーションⅠ②、[体]スポーツⅡ②、[音]器楽②、**リーダーシップ開発(総合)②**、**心理学入門(総合)②**

◇ 3年次自由選択A (6~12単位)

言語文化②、論理国語②、国語表現②、古典探究②、地理探究④、日本史探究②、世界史探究②、倫理②、政治・経済②※₂、数学C②、**数学総合β(数)②**、物理④、化学④、生物④、**湘南の自然(理)②**、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、工芸Ⅲ②、書道Ⅲ②、**陶芸(芸)②**、英語コミュニケーションⅡ②、論理・表現Ⅱ②、論理・表現Ⅲ②、情報Ⅰ②、[家]保育基礎②、[体]スポーツⅡ②、[体]スポーツⅣ②、[音]ソルフェージュ②、[音]器楽②、[美]美術史②、[美]素描②、[美]ビジュアルデザイン②、[美]クラフトデザイン②、[美]映像表現②、**リーダーシップ開発(総合)②**、**心理学入門(総合)②**

※₁ 2年次で数学B②を履修する場合は、選択できない。

※₂ 3年次で政治・経済④を履修する場合は、選択できない。

(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

<主な科目>

湘南の自然（2単位）

湘南地域を中心とした身近な自然の事物・現象に主体的に関わりながら課題を設定し、仮説を立て、観察・実験・調査を通じて検証し、考察・表現する探究活動を通して、科学的に探究する力と態度を育成する。

リーダーシップ開発（2単位）

支援・協働を基盤とするリーダーシップ教育に基づいた見方・考え方を働かせ、自身の内面や身近な社会の諸課題を追求し、解決策を検討する活動を通して、広い視野を持ち、価値観が多様化し急速に変化する社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

総合的な探究の時間（3単位）

これまで両校が取り組んできたリーダーシップ教育やシチズンシップ教育を基盤とし、地域や専門機関と連携しながら、自己の在り方生き方を考え、協働して課題解決に取り組むとともに、積極的に社会に参画するための資質・能力を育成する。

（5）学習指導の工夫

- 生徒一人ひとりの学習ニーズや進路希望に基づき、主体的に学習を進めることができるよう、また生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- 地域の教育力を活用し、他者との協働的な学びを充実させることで自己有用感の醸成を図り、卒業後も学び続ける姿勢を育む。
- 各教科・科目や「総合的な探究の時間」において、自ら考え、判断し行動する力の育成を図るとともに、協働して課題解決に取り組む姿勢や、他者を尊重しながらリーダーシップを発揮する能力を育成する。

（6）生徒指導等の工夫

- 教育活動全体を通じて、他者を尊重する態度を基盤としたより良い人間関係の構築と自立をめざし、生徒の規範意識の醸成を図る。
- 生徒の状況を的確に把握し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な配慮を行い、安心・安全な学校生活を送れるよう生活指導や教育相談体制の充実を図る。
- 生徒と教職員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を構築するとともに、教職員による生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 主体的・対話的で深い学びの実現を通して、深い自己理解を踏まえた自己のキャリアを形成するとともに、自己実現につながる課題を解決するための資質・能力を身に付けさせる。
- 各種講演会、インターンシップ、体験活動等を充実させ、積極的に社会に参画する意欲を醸成し、生徒一人ひとりの希望に応じた進路実現をめざす。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで両校が取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256